



□■□ 事故防止メルマガ「Think」／Vol. 208

■□■ 【発行】シンク出版株式会社 <http://www.think-sp.com/>

// I N D E X // // // // // // // // // // // // // // // // // // // // // // // // // // // // //

- 1・2020年2月後半の安全管理ごよみ
- 2・危機管理意識を高めよう～整備不良による責任を自覚していますか
- 3・交通事故の裁判事例～事故負傷者の発見が遅れた消防隊員の過失を認定
- 4・今日の朝礼話題～急な進路変更は追突事故を招きます
- 5・【新発売】自己診断テスト「追突事故を防ぐ！自己診断チェック」
- 6・【新発売】DVD「あおり運転～加害者にも被害者にもならないために」
- 7・【好評発売中】教育用冊子「改善基準告示の遵守が会社を守る」
- 8・【好評発売中】教育用冊子「安全運転のための3つのキーワード」

// // // // // // // // // // // // // // // // // // // // // // // // // // // // //

★2月後半の安全管理ごよみ

◆1日（土）～29日（土）

——省エネルギー月間

——全国生活習慣病予防月間（日本生活習慣病予防協会）

◆17日（月）～23日（日）

——アレルギー週間（(財)日本アレルギー協会）

◆18日（火）～21日（金）

——2020産業安全対策シンポジウム（第42回）（日本能率協会など）

◆23日（日）

——天皇誕生日

◆24日（月）

——振替休日

◆26日（水）

——自動運転シンポジウム in 桑名（経済産業省・国土交通省）

※詳しくはシンク出版のWEBサイト「今月の運転管理」で紹介しています。

【今月の運転管理↓】

<https://www.think-sp.com/2020/01/10/2020-feb-kongetsu-untenkanri/>

■危機管理意識を高めよう

『整備不良による責任を自覚していますか』

車の点検・整備は使用者の義務として当然のことですが、運転者任せにして、軽視している事業者がいます。昨秋には大きな事故が発生し、経営者が逮捕されました。

整備不良の車に乗っていて事故の被害にあうのは運転者自身ですから、運転者の自覚を高めることがまずは重要です。

さらに、事業者＝使用者にとっても法的な責任があることを忘れていると、刑事罰や大きな損害賠償義務などを負うことになります。

いま一度、自動車を使用しているのは事業者自身であるということを再認識して、点検・整備の徹底を図りましょう。

【続きを読む↓】

<https://www.think-sp.com/2020/02/03/kikikanri-seibihuryo-jiko/>

■交通事故の裁判事例

今回は、5台が絡む玉突き事故で車内に残された負傷者が、現場に駆けつけた救急隊員らに発見されず、2時間半後に発見され死亡した事故につき、消防隊員として職務上尽くすべき注意義務が争われた事例を紹介します。

『事故車両の内部をよく観察していれば負傷者を発見できたと賠償責任を認定』

【事故の状況】

平成25年10月16日午後8時50分ごろ、Aは普通乗用車を運転して島根県益田市内の交差点で先頭から3台目で停止していたところ、後ろから走行してきた中型トラックに追突され、その衝撃で前車に追突して交差点内にはじき出され、対向車線で右折待ちをしていた対向車に衝突し、交差点内で停止しました。

Aら事故の負傷者は駆けつけた救急車によって病院に搬送されましたが、A車の後部座席に座っていたBは、前席と後席の間に倒れ込んでいたために消防隊員らに発見されることはなく、約2時間半後に発見されて救急搬送されましたが、病院で死亡しました。

Bの家族らは、救急隊員らは負傷者の救助とともに、事故車両の内部にライトなどを当てるなどして、負傷者が残っていないかを探すべきであるのに、これを怠った過失があると主張しました。

【裁判所の判断】

「事故の発生が夜間であることや、Bが暗い色の洋服を着用しており、前部座席と後部座席の間に落ちこんでいたことで、車内を一見しただけでは発見できる状況にはなかった」

「しかし、警察官らが家族からの申し出を受けて捜索した際に後部座席と助手席の間から手が見えていたことからすると、注意深く観察していれば発見できた可能性が高かったといえる」

「また、Aは会話が可能な状態で、同乗者の有無を確認さえしていれば、その回答から車内を捜索し、発見することができたというべきであり、救急隊員らは同乗者の有無を確認しておらず、救急隊員として通常尽くすべき注意義務を怠ったといえる」

として、救急隊員が所属する地区広域市町村圏組合に国家賠償法1条1項に基づく損害賠償責任を認めました。

(神戸地裁 平成29年12月21日判決)

■今日の朝礼話題

『急な進路変更は追突事故を招きます』

急な進路変更で追突事故を誘発した車のニュースを紹介します。

さる1月30日午後0時ごろ、京都市山科区の道路で路線バスが29歳の男性が運転する乗用車に追突し、バスの乗客2人が転んで頭や腕に軽い怪我を負う事故が発生しました。…

【続きを読む↓】

<https://www.think-sp.com/2020/02/03/tw-sinrohenko-kiken/>

シンク出版WEBサイトでは、朝礼時や会報作成時に参考にしていただける

「今日の朝礼話題」を毎日（弊社営業日）更新しています。

（情報のご利用につきましては、以下「当サイトのご利用について」をご確認ください↓）

<http://www.think-sp.com/about/>

■【新発売】自己診断テスト「追突事故を防ぐ！自己診断チェック」

※仕様 A4判／4ページ（複写式）／カラー刷

※価格 500円（1セット＜5冊＞・税別・送料実費）

依然、人身事故における割合でトップに立つ追突事故を起こさないためには、運転者それぞれが追突事故を防止しようとする意識を持つことが大切です。

本テストでは、追突事故にまつわる48の質問に「ハイ」「イエエ」で答えていただくことで、普段の運転行動における追突事故に対する危険度を簡単に知ることができます。

「車内へのわき見で追突する危険度」「車間距離を詰めて追突する危険度」など6つのパターンで診断され、どういった状況で追突事故を起こしやすいかを確認できますので、追突事故防止に最適の教材となっています。

【詳しくはこちら↓】

<https://bit.ly/2RpJfim>

■【新発売】DVD「あおり運転～加害者にも被害者にもならないために」

※仕様 カラー16分

※価格 各60,000円（税別・送料無料）

※制作 アスパクリエイト

昨今、あおり運転にまつわる悲惨な事故が社会問題となっています。この「あおり運転」の加害者にも被害者にもならないために、しっかりとした対策が早急に求められています。

本DVDは、「あおり運転」の定義から、感情コントロールの方法、具体的な運転方法、あおり運転の被害にあった時の対処法まで、映像で具体的に解説していますので、事業所の安全運転教育に最適な内容となっています。

【詳しくはこちら↓】

<https://bit.ly/36Wambq>

■【好評発売中】教育用冊子「改善基準告示の遵守が会社を守る」

※仕様 A4判／16ページ／カラー刷

※価格 1,000円（1セット＜5冊＞・税別・送料実費）

長時間労働になりがちなトラックドライバーには、決して快適とは言えない労働環境を改善するために拘束時間や運転時間などに限度時間等が定められており、これを「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」（改善基準告

示) と呼びます。

しかし、この「改善基準告示」は内容が複雑で、しっかり理解できていないがために違反をしてしまっている事業所が多数存在します。

本誌では、わかりにくい改善基準告示について、マンガや表、グラフなどでわかりやすく解説しており、初任の運行管理者でも簡単に理解していただくことができます。

【詳しくはこちら↓】

<https://bit.ly/2rJogOr>

■ 【好評発売中】 教育用冊子「安全運転のための3つのキーワード」

※仕様 B5判／16ページ／カラー刷

※価格 700円（1セット＜5冊＞・税別・送料実費）

交通事故には交差点の通過や進路変更、バック走行など、典型的な事故パターンがいくつか存在しており、それぞれのパターンに潜んでいる危険要因をあらかじめ理解して行動すれば、事故を起こす確率を飛躍的に減らすことができます。

本冊子は、まずそれぞれの事故パターンにおける交通事故危険度をチェックしていただき、解説ページでは、事故の危険要因をイラストと3つのキーワードで表現することで、直感的に理解し、記憶していただくことができます。

ぜひ、安全運転のための3つのキーワードを身につけて、事故防止スキルの向上にお役立てください。

【詳しくはこちら↓】

<https://bit.ly/2PfnCSO>

【事故防止メルマガ「Think」のバックナンバーはこちら↓】

<https://goo.gl/duF5ws>

本メールマガジンは、名刺交換をさせていただいた方々にも送信させていただいております。今後、メールマガジンの購読を希望されない場合は、お手数ですが下記アドレスまでご連絡をいただきますようお願いいたします。

(令和2年2月3日送信)

※本メールは「MSゴシック」などの等幅フォントで最適に表示されます。



～人と車の安全な移動をデザインする～

シンク出版株式会社

大阪市北区天神橋1-7-15ピアリッツ天神橋501

TEL 06-6809-1989

FAX 06-6809-1984

Eメール mail@think-sp.com

URL <http://www.think-sp.com/>

